



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ mail@ken-nonoyama.com

No.416 2016.12.21

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

北区総がかり実行委員会が赤羽・王子で宣伝署名行動

沖縄に基地はいらない

戦争法 = 安保法制や、戦争する国づくりに反対する北区総がかり実行委員会は 17 日、赤羽駅と王子駅で、沖縄の米軍新基地建設反対、オスプレイ撤去などを求める宣伝署名行動にとりくみました。



沖縄の新基地建設反対の署名をよびかける、そねはじめ都議

赤羽駅東口では、実行委員会のメンバーと新社会党の福田光一区議、日本共産党の、そねはじめ都議、さがらとしこ、のの山けん区議が街頭に立ち、署名への協力を訴えました。マイクを握った、そね都議は、「先日、沖縄で米軍輸送機オスプレイが墜落し、大破するという重大事故が起

きました。ところが在沖米軍の司令官は、『住宅地を避けたことに感謝するべきだ』などと驚くべき高圧的な態度をとりました。沖縄の米軍は日本を守るためにあるものではありません。名護・辺野古の新基地建設を中止し、オスプレイは配備を撤回すべきです」とよびかけました。

最高裁が辺野古 不当判決を追認

一方、辺野古の新基地をめぐる、国が沖縄県を訴えた裁判で 20 日、最高裁は国側勝訴の判決を言い渡しました。県民の意思を踏みにじる不当判決に、翁長沖縄県知事は「県民とともに歩む」とのべ、新基地は造らせないといい、公約実現に全力をつくす決意を示しました。



日本と韓国の友好を

北区日韓親善協会・日韓議連が送年会

15 日、赤羽会館で北区日韓親善協会・日韓議連の送年会が開かれました。今月初めに急逝した山田統二理事長・北区副区長を偲びつつ、一年の活動を振り返りながら交流を深めました。日本共産党の、そねはじめ都議が来賓としてあいさつしました。(のの山けん)

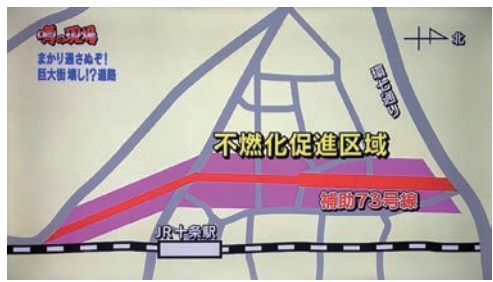
紙上
再現

12/18放映 十条まちづくりを特集した 噂の! 東京マガジン

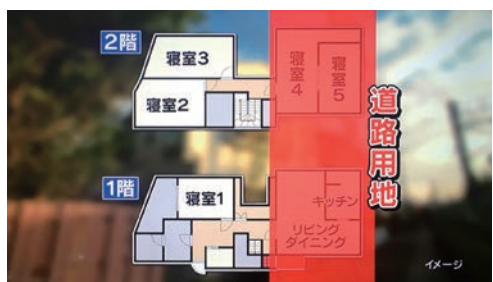
18日放映のTBS「噂の! 東京マガジン・噂の現場」で、十条のまちづくりが特集されました。番組の内容を紙上で紹介します。(のの山けん)



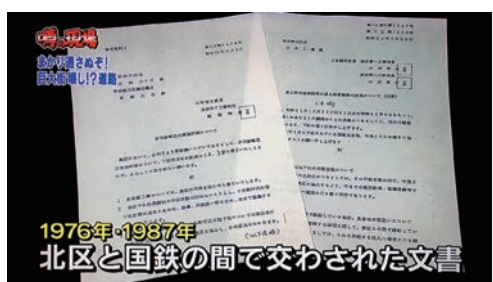
番組タイトルは「まかり通さぬぞ! 巨大街壊し!? 道路」。十条銀座などの商店街と閑静な住宅街が立ち並ぶ十条の街が紹介された後、現道のない住宅地に建設されようとしている補助73号線計画が地図で示されます。



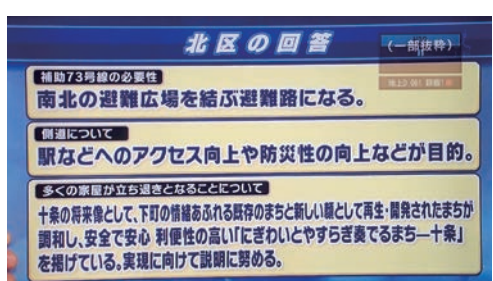
73号線の幅員は20～30m。広いところでは環状七号線よりも広くなり、この計画で250軒もの住民が立ち退きを迫られることに。さらに道路の両脇30mずつの地域は、建替え時に3階以上などの制限がかけられます。



番組のために集まった住民のみなさんから、まちづくりではなく「街壊し」だとの厳しい意見が。さらに埼京線鉄道高架化のための側道建設で、自宅が「羊羹のように切られてしまう」という住民の悲鳴も紹介されました。



突如として出てきた鉄道高架化に対し、住民からは、地下化ならば側道はいらなくなり、立ち退き被害も抑えられるとの指摘。北区と旧国鉄の間で「地下化」での施工を約束していた文書も映し出されました。



住民の怒りは、まともに説明責任を果たさない北区にも向けられます。区にかわって、住民自身が商店街で計画を説明する場面も。番組の取材に対し、北区は映像での出演を断り、文書での回答を示すだけでした。



番組の最後に、森本キャスターが「都も区も住民の声を真剣に聞こうとする姿勢がない」と指摘し、取材した深沢リポーターは「これで果たして、『にぎわいとやすらぎを奏でるまち—十条』になるのか」と疑問を呈しました。